



やまぎし み 山岸はる美 議員

問 災害復旧工事の進捗状況は

答 町は約80パーセント、県は約70パーセント発注

町・県の災害復旧工事
議員 昨年8月30日の大雨災害による町・県が所管する復旧工事の進捗状況は。
町長 町が所管する災害復旧工事の公共土木施設は道路、河川、橋りょうで合わせて46件であり、現時点で32件、70パーセントが発注済み、うち15件、33パーセントが完了済みである。農業用施設では、道路、橋りょう、頭首工（※）、水路で合わせて7件の工事で、現時点で6件、88パーセントが完了済みである。林道では5路線9件で、全て発注済みであり、うち1件が完了し、残り8件も年内完成を見込んでいる。
県が所管する災害復旧工事は、道路、河川で合わせて20件で、道路で67パーセント、河川で71パーセントが発注済みと確認している。今後



五日市保育園の夏祭り。園舎は築48年経過し老朽化しています。

も円滑な工事発注と早期発注、復旧を県に要請していく。
（※）頭首工
河川などから農業用水を用水路へ引き入れるための施設。
保育園舎の改築
議員 町内には4つの保育園があるが、葛巻保育園以外は川沿いに位置しており、災害時には危険な場所である。園舎が老

朽化していることから、改築移転の具体的な考えは。
町長 葛巻保育園を除く3園が建築から40年以上経過しており、老朽化が著しく、大規模補修、設備更新などで延命化に努めてきた。一方で出生数は年々減少しており、4園の合計定員数155人に対し125人、80パーセントの入所率であり、今後とも同程度で推移していくもの

と見込まれる。
園舎整備は老朽化の状況だけでなく、今後の園児数の推移、就学前教育の充実、保小連携の観点を踏まえて今後、整備検討委員会を設置し、整備計画の策定を進めたい。
中学校部活動の支援
議員 中学校生徒数が減少しているが、クラブ活動充実の支援策は。
町長 生徒数の減少に伴い、少人数での活動を余儀なくされる中、町教育委員会では中学校のクラブ活動の範囲内で希望する生徒の送迎を実施しているが、他校でのクラブ活動参加を希望する生徒はいなかった。今後も生徒が意欲的にクラブ活動に取り組めるよう教育関係、スポーツ関係団体などと連携しながら支援に努める。

～今ここが聞きたい～

12月5日に、5議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 茶屋場田子線の開通時期は

答 30年度開通に向け進める

進捗と完成見通し
議員 町道茶屋場田子線、葛巻浦子内線の工事進捗状況と完成見通しを伺う。
町長 現在、茶屋場田子線は茶屋場交差点からJA葛巻支所裏まで盛土、擁壁工事を進めている。今年度中には葛巻小学校校庭進入路付近まで工事が進む見込み。事業費ベースで約70パーセントの予定。30年度中の全線開通に向けて工事を進めている。
葛巻浦子内線は、馬淵川と外川川の合流点の上流側に新橋を架設し、浦子内方向へ新橋を含めた約450メートルの区間の道路の拡幅整備を行う。現在、町では橋の詳細設計に取り組み、河川管理者から架設計画の承認を得た上で、順次用地買収、物件移転補償を進め、工事の完了を32年度と見込んでいる。

大橋の「木橋」整備
議員 「大橋」架け替え工事に、町産材を活用した「木橋」で整備できないか。
町長 大橋は、大型車両が通ることから、一定の強度の構造が必要。木橋はコンクリート橋と比べ、強度確保のため橋脚の増設が必要となるなどの技術的課題がある。
現在、町産の集成材を活用した「木橋」整備について、先進架設事例などの情報収集を行っているが、町のイメージアップや林業振興の視点からも十分に検討を重ね、「木橋」の整備実現に努力したい。
新町旧遠藤邸の整備
議員 新町地区の旧遠藤邸の利活用状況と課題、今後の家屋や周辺の整備計画は。
町長 旧遠藤邸の今年

度の利活用は、「町家利用規定」を作り、広く町民に呼びかけ「ヨシ・ナカガワ」氏の版画展示会や女性有志による「くずまきクラフト市」を開催。利活用にあたっての課題は、来場者の安全な往来と駐車場の確保やトイレなどの水回り設備が無いことで、今後、まちなか活性化協議会、地元自治会と協議・連携し、まちなかの賑わい創出拠点として充実に努

図りたい。
今年度「くずまき型DMO」の「まちなか検討部会」で本施設と周辺を含めた構想の策定と具体的な活動の検討を重ねている。
町では、こうした取り組みや検討結果等を踏まえ、女性や若者にとって町中心部が「歩きまわりたくなる魅力的なエリア」と感じてもらえるような施策の具体化を図りたい。



旧遠藤邸で開催された「くずまきクラフト市」。利活用により賑わい創出が期待されます。